

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響 音

年末に響く“歓喜の歌”
心震わす壮大なクライマックス



ベートーヴェン： 交響曲 第9番 二短調 作品125 「合唱付き」

Beethoven: Symphony No. 9 in D minor, op. 125 "Choral"

ベルリン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座など
世界の一流歌劇場で活躍するイタリアの名匠
マッシモ・ザネッティ
Conductor=Massimo Zanetti

読売日本交響楽団 2018年度〈第九〉演奏会

● FUJITSU Presents Concert 〈第九〉特別演奏会

12月19日(水) 19時開演 サントリーホール(赤坂)
S¥9,500 A¥7,500 B¥6,000 C¥4,500

● 第617回名曲シリーズ

12月20日(木) 19時開演 サントリーホール(赤坂)
S¥9,500 A¥7,500 B¥6,000 C¥4,500

● 第212回土曜マチネーシリーズ

12月22日(土) 14時開演 東京芸術劇場
コンサートホール(池袋)
S¥9,500 A¥7,500 B¥6,000 C¥4,500

● 第212回日曜マチネーシリーズ

12月23日(日・祝) 14時開演 東京芸術劇場
コンサートホール(池袋)
S¥9,500 A¥7,500 B¥6,000 C¥4,500

● 第108回みなとみらいホリデー名曲シリーズ

12月24日(月・休) 14時開演 横浜みなとみらいホール(横浜)
S¥9,500 A¥7,500 B¥6,000 C¥4,500

● SHINRYO Presents 〈第九〉特別演奏会

12月25日(火) 19時開演 東京芸術劇場
コンサートホール(池袋)
S¥9,500 A¥7,500 B¥6,000 C¥4,500

*19、25日公演のみ、前半に新国立劇場合唱団が、J.S.バッハ：モテット第1番(約15分)の演奏を行います。

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター: 0570-00-4390

(10:00~18:00・年中無休)

読響チケットWEB: <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/*チケット郵送料無料

プレイガイド: チケットぴあ他

託児サービス 東京芸術劇場と横浜みなとみらいホールには一時託児施設があります(要事前予約)。 ■ 学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(学生証/25歳以下)。ただし席を譲ることできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■ 都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■ 未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。



合唱=新国立劇場合唱団 (合唱指揮=三澤 洋史)

Chorus=New National Theatre Chorus (Chorusmaster=Hirofumi Misawa)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
共催: 東京芸術劇場(公益財團法人東京都歴史文化財団)(22、23日)

協賛: 富士通株式会社(19日)、NTTコミュニケーションズ株式会社(22日)

特別協賛: 新菱冷熱工業株式会社(25日)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会(20、22、23、24日)

事業提携: 東京芸術劇場(25日) 協力: 横浜みなとみらいホール(24日)

<https://yomikyo.or.jp/>

時代を超え、心に響きわたる《歓喜の歌》

クラシック音楽の歴史に燐然と輝く不朽の名作、ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付き」。最終樂章で高らかに響く“歓喜の歌”は、年の瀬の日本を彩る風物詩としても親しまれています。〈第九〉には、国境を越え、世代を超えて、多くの人に感動をもたらす特別な魅力があるのです。

今年の読響〈第九〉公演、指揮にはイタリアの名匠マッシモ・ザネッティが登場します。ベルリン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座など世界の一流歌劇場で活躍しているマエストロです。

ウィーン国立歌劇場など世界各地で歌うソプラノのアガ・ミコライをはじめ国際的に活躍する独唱陣、日本が誇るプロ合唱団の新国立劇場合唱団とともに、読響がお届けする至福のひとときをご堪能ください。

新国立劇場合唱団 (合唱指揮=三澤洋史)
New National Theatre Chorus (Chorusmaster: Hirofumi Misawa)

至高のハーモニーで人類愛を歌う、読響〈第九〉のベスト・パートナー。新国立劇場で行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を展開し、高い評価を得ている。2007年以来、読響〈第九〉公演に出演を続けている。

読売日本交響楽団
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。現在、常任指揮者はシリヴァン・カンブルランが務めている。サントリーホールや東京芸術劇場などで多数の公演を開催するほか、小中学校や病院で演奏するなど、クラシック音楽ファンのすそ野拡大にも地道な努力を続けている。



マッシモ・ザネッティ (指揮)
Massimo Zanetti

欧州を中心にオペラとシンフォニーの両方で活躍する名匠。1962年イタリア生まれ。ベルリン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、ドレスデン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、チューリヒ歌劇場、パリ・オペラ座、ローマ歌劇場など世界の一流歌劇場に客演を重ねている。バルマのヴェルディ音楽祭などにも出演しているほか、ウィーン響、ハンブルク北ドイツ放送響、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、バーミンガム市響、ロシア国立管などを指揮。2002年までベルギー王立フランダース歌劇場の音樂監督を務め、18年9月には韓国キョンギ・フィルの音樂監督に就任する。録音では、デッカからリリースされたヴェルディ〈シモン・ボッカネグラ〉などがある。読響とは今回が初共演。



アガ・ミコライ (ソプラノ)
Aga Mikolaj

世界各地で聴衆を魅了する歌姫。シュヴァルツコップの薰陶を受け、2002年から07年までバイエルン国立歌劇場の専属歌手を務めた。以後、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、ベルリン国立歌劇場、パリ・オペラ座、英国ロイヤル・オペラ、グラインドボーン音楽祭などに出演。ロイヤル・コンセルトヘボウ管など一流楽団とも共演している。



清水 華澄 (メゾ・ソプラノ)
Kasumi Shimizu

目覚ましい躍進をみせるメゾの大器。バーデン市立劇場〈こうもり〉オーロフスキ、二期会〈ドン・カルロ〉エボリ公女、新国立劇場及び中国國家大劇院〈アイーダ〉アムナリス、日本劇場〈ラサルカ〉エジ・ババなどで絶賛を博した。マーラーの交響曲(2番、8番)の独唱を得意とし、主要楽団と多数共演。今年6月には初のリサイタルを開催した。二期会会員。



トム・ランドル (テノール)
Tom Randle

多彩な才能で世界的に活躍するテノール。ベルリン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、ベルリン・ドイツ・オペラ、英國ロイヤル・オペラ、エクサン・プロヴァンス音楽祭などに出演。バレンボイム、コ林・ディヴィスらの指揮で、ボストン響、シカゴ響など著名楽団とも共演している。バロックをはじめ、ロマン派から現代音楽作品まで幅広いレパートリーを誇る。



妻屋秀和 (バス)
Hidekazu Tsumaya

温かみのある深い声を持つ、日本を代表するバス歌手。1994年から2001年までライプツィヒ歌劇場、02年から11年までワイマール国民劇場の専属歌手を務めた。ベルリン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、新国立劇場などに客演し、幅広いレパートリーで国際的に活躍。昨年11月〈アッジの聖フランチスコ〉兄弟ペナルドで絶賛された。二期会会員。



ntt.com

NTT Communications
Transform. Transcend.

**Transform your business,
transcend expectations
with our technologically
advanced solutions.**

想像を超えるスピードで進化するAIやビッグデータ、IoTの世界。今、求められているのは、既成の枠組みや概念を取り払い、全てを変革する力。私たちはその力を、スマートなICTソリューションで届けたい。お客様の期待を超えて、ビジネスの新しい未来をかなえるために。